

千里新田地区まちづくり協議会 2026年度（第20期）通常総会議事録

- 【日 時】 2026年5月16日（土）午後7時から8時まで
【場 所】 吹田市立千里新田小学校 高学年図書室
【出席状況】 会員総数98名から賛助会員1名を除いた会員数97名に対して、出席者47名、委任状31名の合計78名

- 1 開会挨拶
福間会長より開会の挨拶があった。
- 2 出席確認
大塚総務より出席状況について説明があり、会則第14条に基づき本総会が成立した旨の報告があった。
- 3 会則第13条第4項に基づき、会長からの指名により理事の北野徹義氏が議長に就任した。
- 4 議事録署名人選出
議長が、議事録署名人に理事の崎井一三氏と日高潤二氏の2名を指名した。
- 5 議案
 - (1) 第1号議案 2025年度（第19期）活動報告
 - (2) 第2号議案 2025年度（第19期）一般会計収支決算報告並びに会計監査報告
第1号議案および第2号議案を一括して審議することとし、第1号議案について会長および副会長より、第2号議案について田畑会計より決算報告、武田会計監査より監査報告がそれぞれ行われた。
なお、決算報告に関し、福間会長より補足説明があった。
「地域防災対策補助金」およびこれに係る「安心安全対策活動費（自主防災資材）」の収支について、役員会の承認を得て、今年度より当協議会の一般会計に繰り入れて処理することとした。この補助金は「千里新田地域災害対策本部」の名義で受給しているが、実際の活動は役員会が推進していること、また、運用の透明性・公平性を高めることがその理由である旨が報告された。

両案について併せて審議した結果、特に質疑なく、採決の結果、拍手多数によりいずれも承認された。
 - (3) 第3号議案 千里新田地区まちづくり協議会会則の改定について
福間会長より議案書に基づき改定内容について説明があった。

第3号議案については、特に質疑なく、採決の結果、拍手多数により承認された。
 - (4) 第4号議案 2026年度（第20期）活動計画（案）
 - (5) 第5号議案 2026年度（第20期）一般会計収支予算（案）
2026年度（第20期）特別会計【青パト】収支予算（案）
第4号議案および第5号議案を一括して審議することとし、第4号議案について福間会長より説明が行われた。続いて第5号議案について、福間会長より「青パト会計の見

える化」および「適正・有効に活用できる会計体制」を目的として特別会計を設置する趣旨説明がなされた後、田畑会計より予算案の説明が行われた。

両案について併せて審議した結果、質疑および応答は以下の通りであった。

質問1 (会員) 個人会員の募集と各団体の巻き込みについて

地区人口に対して個人会員数が非常に少ないと感じるが、新規会員の募集はどのように行っているか。また、各団体所属の個々のメンバーをどのように巻き込んでいくことを考えているか。

→ 回答 (福間会長)

会員募集は個人のつながりが基本であり、会費免除団体 (PTA や学校等) の長にも、ここで活動する間は個人会員になっていただけようお願いしている。各団体所属の個々のメンバーへの直接的なアプローチは難しいため、各団体の代表者の皆さんに協力を仰ぎたい。全体として認知度不足が課題であるため、今後の役員会で継続して議論していく。

質問2 (会員) 一般会計予算の減額理由について

一般会計予算案において、補助金や雑収入の額が昨年度の決算に比べて大きく減額されているが、どのような観点からか。

→ 回答 (福間会長)

補助金については、青パトの活動に係る吹田市補助金を特別会計に移行したため、一般会計の予算額が減少している。また、雑収入については、従来は新年会や懇親会などの参加費を「収入」と「支出」の双方に全額計上していたが、実質的な協議会からの拠出金のみを計上するスタイル (差引表記) に修正したためである。実質的な活動規模は変わらない。

以上の質疑応答の後、採決の結果、拍手多数によりいずれも承認された。

すべての議案の審議と報告が終了し、司会によって議長が解任された。

6 閉会の挨拶

野中副会長より閉会の挨拶があった。

以上、本総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するため、議事録を作成し、議事録署名人はこれに署名する。

2026年 5月 22日

議事録署名人

日高潤二

2026年 5月 23日

議事録署名人

崎井一三